

南幌高校での3年間を終えて

~Memories of three years~

3月1日は、南幌高校の卒業式です。3年生14人が高校生活の3年間を終えて学び舎を巣立ちます。卒業生を代表して、山口晃汰さんと中田慎子さんの二人に話を聞きました。

Q 3年間を振り返って思い出に残ることは？

山口 部活動の軽音楽部です。ドラムを任されましたが、最初は何も分からず先輩や地域の人から教えてもらいながら何とか形になりました。上達できたきっかけは、「野祭」に出演することが決まり、その練習の中で地域の人が丁寧に教えていただいたことです。関係者の皆様ありがとうございました。

中田 貴重な経験を沢山積んだことです。生徒会で2年半、副会長として学校をまとめることができたことや校外に出て、学校の代表としてプレゼンを行ったりしたことです。南幌高校に通っていたからできたことだと感じました。



中田慎子さん

山口晃汰さん

Q 卒業後の二人の進路は？

山口 農業です。小学生の頃から父の農業の手伝いをしていたので、祖父母と父と共に農業をしていきたいと思います。

中田 北広島市内のホテルに就職が決まっています。自分が望んだ職に就くことができ、本当に嬉しく思います。どんなお客様にも丁寧な接客ができるよう、日頃からの言葉遣いに気を配ったり、外国のお客様も多数いらっしゃるの、英語の勉強もしています。「就職内定」がゴールではないので、これからも日々努力を怠ることなく頑張ります。

Q 南幌高校の印象は？

山口 生徒数が少ないことでした。しかし、それを存分に生かして、一人ひとりに学習面や生活面で分からないことや難しいことを先生方から丁寧に教えていただきました。

中田 南幌高校は、人数が少なくても一人ひとりが個性的で、先生方は生徒一人ひとりを見てくれると思います。私は中学の時から明るい性格でしたが、高校では更に明るくなれました。

Q 卒業にあたって何かひとこと

山口 とても、早足で時が過ぎて行ったと思います。3年間を通じてとても自分自身の成長を感じることができました。不慣れな生徒会活動や未経験の部活動、学校祭などを日々こなしていくうちに判断力、行動力といった、より実践的な能力を得られたと思います。3年間の様々な学びを忘れないで、この先も頑張ります。3年間お世話になりました。

中田 「入学式が昨日のここのように」とよく言いますが、本当にそんな気分です。友人と笑い合ったり、生徒会活動で忙しかったり、テスト勉強に追われたり、濃密な3年間でした。南幌高校に通って、私は面倒くさがることを止めました。面倒くさいことを回避しても、結局、もっと面倒くさいことが待っているということに気がきました。このことに気付けたのが私の中で一番成長した部分です。卒業しても明るい性格を失わず、南幌で学んだことを最大限に活かして人生を歩んでいきます。

卒業生の進路

◆大学・専門学校 4人 ◆就職等 10人 ※いずれも予定